

相模湖みどりの丘では職場環境改善の取組みを以下の通り実施しています。

職場環境等要件（見える化要件）

分類	労働環境等要件	相模湖みどりの丘での取り組み
資質の向上	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援（研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む）	資格取得を目指す者のために介護職員初任者研修や介護福祉士取得対策講座の費用を施設が負担し受講させた。 リーダーや中堅職員の専門性を高めるためユニットリーダー研修、介護職員喀痰吸引等研修の費用を施設が負担し受講させた。 一般職員の知識を深めるため感染症防止、褥瘡防止、認知症等の有料セミナーに費用を施設が負担し受講させた。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	研修受講後報告書を提出させ、業績評価の面接の際に研修で得た知識、技術が業務に生かしているかどうかを確認している。
労働環境・処遇の改善	新人介護職員の早期離職防止のためのエルダー・メンター（新人指導担当者）制度等導入	新人介護職員に業務の知識や介護技術を修得させるため、入職後は新人教育期間を設け、指定のユニットでマニュアルに沿ってマンツーマン指導を行っている。
	雇用管理改善のため管理者の労働・安全衛生法規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用管理改善対策の充実	有給休暇の取得促進を積極的に行っており就業規則の改正を行った。
	ICT活用（ケア内容や申し送り事項の共有（事業所内に加えタブレット端末を活用し訪問先でアクセスを可能にすること等を含む）による介護職員の事務負担軽減、個々の利用者へのサービス履歴・訪問介護員の出勤情報管理によるサービス提供責任者のシフト管理に係る事務負担軽減、利用者情報蓄積による利用者個々の特性に応じたサービス提供等）による業務省力化	タブレット端末を活用した介護ソフトの導入による情報共有、記録の電子化による業務負担の軽減を行っている。
	介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入	特浴、電動ベッド（超低床ベッド含む）を導入し、介護職員の腰痛対策を行っている。
	子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備	仕事を継続しながら子供の養育を容易にするために育児休業規程を定めた。
	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	毎朝、ミーティングを開き情報共有を徹底している。 ユニット会議、フロア会議、リーダー会議等を実施し、職員の意見発議の場を設け業務の改善を図っている。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化	事故防止委員会他、各種委員会の規程、運営マニュアル
	健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、職員休憩室・分煙スペース等の整備	年次健康診断、ストレスチェックの実施、職員休憩室の確保、敷地内禁煙の実施
その他：	専門家を招き腰痛予防の研修を行っている。	
その他	中途採用者（他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等）に特化した人事制度の確立（勤務シフトの配慮、短時間正規職員制度の導入等）	職務経験のない者に職場環境や業務に慣れてもらうため身体介護以外を行う「介護助手」制度を設け、時間をかけ教育・指導を行った上で、介護職員に転換している。
	地域の児童・生徒や住民との交流による地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上	地域の交流イベントに参加し入居者の作品を出展している。 地元高校福祉科生徒の介護実習を受け入れ、地域の介護人材育成に協力している。
	非正規職員から正規職員への転換	非正規職員から正規職員への転換を奨励している。
	職員の増員による業務負担の軽減	正規・非正規を問わず積極的な介護職員の採用活動を行っている。 介護職員以外の職員（介護助手、施設管理業務担当者等）を採用し、清掃、洗濯、ゴミ処理等の業務を担当してもらい、介護職員の負担軽減を図っている。
	その他	通勤による負担を軽減するため、最寄の駅・バスターミナルまで勤務シフトに合せた職員送迎を実施している。